

出向く宮農レポート

瀬戸グリーンセンター 2周年イベントに向けて



瀬戸地域担当
伊藤 昌孝

6月で瀬戸グリーンセンター「とれたて館」はリニューアルオープン2周年を迎えます。
6月7日(金)～9日(日)に開催する2周年イベントで地元野菜を多くの皆様にお届けできるよう、事前にロメインレタスやキャベツなどの栽培を依頼した井戸盛雄さんの圃場に出向きました。

手前：ロメインレタス
奥：レタス

みずみずしいシャキシャキとした食感が美味しいロメインレタス。
3月中旬ごろに定植、約1か月でここまで大きくなりました。



レタス



ロメインレタス

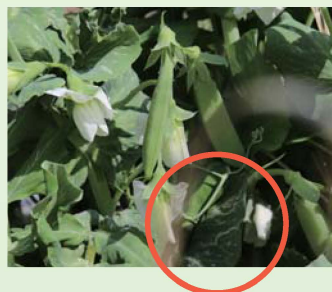
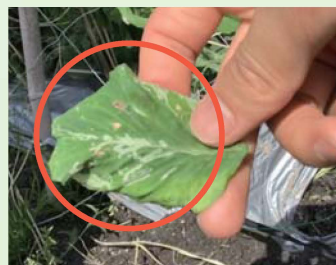
井戸さんから「最近暖かくなり、蝶がよく飛んでいる。野菜に虫がつきそうなので防除農薬を教えてください」と依頼がありました。圃場を確認するとレタスにはアブラムシが、キャベツとブロッコリーにはアオムシの卵(1mmほどの小さな黄色い卵)がついていました。卵が孵化すると葉を食害し、出荷ができなくなってしまいます。



対処として井戸さんが持っている農薬を確認し、アブラムシとアオムシに効く使用可能な農薬の散布を提案しました。

今回提案した防除の内容

- 4月下旬：●アファーム乳剤(チョウ目) 1000~2000倍
●アルバリン顆粒水溶剤(アブラムシ) 2000~3000倍
- 5月中旬：●パダンSG水溶剤(チョウ目) 1500倍



次にスナップエンドウを確認したところ、ハモグリバエがいました。葉の白い筋はハモグリバエが食害した痕で、被害がひどくなると実の付きが悪くなってしまいます。

別の圃場に植えてあるソラマメも心配で一緒に防除したいとの事だったので、どちらにも使用可能なプレバソンフロアブル5の散布を提案しました。

井戸さんは「春は暖かくなるにつれて虫が増えるので気を抜けず、毎日が勝負」と言っていました。こうした声にお応えするため、出向く宮農職員も積極的に圃場巡回を行っています。気になる事がありましたら是非ご相談ください。